2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
イラストレーション実習 2 (1)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	ローガン ハザード			実務 経験	有	職種	イラストレーター				
担当教員紹介											
<p>ニューヨークで美術を学び、漫画家、フリーランスのイラストレーター、ファインアーティストとして活躍した経験を持つ。来日してからは大手広告会社のスタッフイラストレーターを経て、フリーランスのイラストレーターとして活動している</p>											
授業概要											
<p>※この授業は、120時間を60時間づつ2つの実習に分けて実施します。 ボリュームを表示するための基本的なフォームの使用、図の描画、芸術的な解剖学、透視図法などの基本的な描画スキルを学びます</p>											
到達目標											
<p>学期の終わりまでに、学生は基本的な描画技術とスキルを練習して開発する方法をよりよく理解できるようになります</p>											
授業方法											
<p>教師が作成した特別な参考資料やスケッチブックでの直接観察からの描画などの特別な課題から、クラスでの学習と実践のテクニック</p>											
成績評価方法											
<p>すべての練習課題の完了に加えて、クラスへの出席とクラスでの努力が最も重要です。</p>											
履修上の注意											
<p>絵を描くことやイラストに興味を持ち、より良い絵を描くことを真剣に学びたいという願望を持つことが不可欠です。</p>											
教科書教材											
<p>必要な参考資料はすべてクラスで配布されます</p>											
回数	授業計画										
第1回	陰影01:基本理論。光源。										
第2回	陰影02:光を使ってボリュームを表現する方法										
第3回	陰影03::影を選択的に使ってボリュームを表現する方法										
第4回	服を描く01:布の折り目の基本原則										
第5回	服を描く02:男性の服を描く										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
イラストレーション実習 2 (1)	
第6回	服を描く02：女性の服を描く
第7回	動物の描画01：構造と比率の基本原則
第8回	動物の描画02：霊長類を含む哺乳類
第9回	動物の描画03：爬虫類、両生類、恐竜
第10回	動物を描く04：鳥と海洋生物
第11回	プロセス01：すべてをまとめる：アイデアを開発する方法：アイデアのスケッチと参考資料の使用方法。
第12回	プロセス02：イラストの下書きの意味とやり方
第13回	プロセス03：イラストのカラースケッチの意味とやり方
第14回	プロセス04：で最終的なイラストに取り組む
第15回	学期の概要と実践

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
イラストレーション実習2(2)											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	早川 純子			実務 経験	有	職種	版画家・絵本作家				
担当教員紹介											
<p>ひっきりかえる版画の世界を探索しに、1970年東京に生まれる。個展などで版画の発表をつづけ、造形教室、講師業をしながら、挿絵や絵本の仕事をし、現在にいたる。主な絵本に「はやくちこぶた」「おおかみのはなし」(瑞雲舎)「まよなかさん」(ゴブリン書房)「こんとごん」、「スマントリとスコスロフ」(福音館書店)「たべちゃうぞ」(リープル)「十二支のおもちつき」(童心社)「なまはげ」(汐文社)「国づくりのはなし」(小学館)など。童話の挿絵に「みんなの家出」、装画に「どんぐり喰い」(福音館書店)などがある。</p>											
授業概要											
<p>※この授業は、120時間を60時間づつ2つの実習に分けて実施します。 手作りの絵本を一冊つくる。一つの作品にまとめる力をつける。</p>											
到達目標											
<p>自分の絵本を最後に提出する。テーマを決めてつくる。15見開き、13見開き、11見開き。自由な形の絵本。いずれか自分の表現に合った形で、一冊絵本の形にまとめる。</p>											
授業方法											
<p>授業前半_簡単なワークショップをおこなう。(絵本のページめくりなどを考えるもの/素材体験など) 授業後半_自分絵本の制作(15回かけて、進める。最後に提出) 授業時間間を見、その時のテーマにあった資料をみてもら_絵本の資料(絵本、絵本原画、印刷色校正紙など)</p>											
成績評価方法											
<p>50%_最後の提出絵本。 10%_毎回のワークショップ作品を提出できているか。 10%_自分の作りたい作品、計画ができているか。 20%_毎回の発表。他の人の作品も見ているか。 10%_出欠</p>											
履修上の注意											
<p>各自自分の計画した絵本の内容を描き上げる。一冊にまとめてみる。一冊の形で制作してみる。表現方法をいろいろ試してみる。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業のテーマにあった絵本。早川の絵本原画、ラフ、色校正紙など。</p>											
回数	授業計画										
第1回	ワークショップ*ミニカード絵本1/自分絵本の制作*テーマを決める										
第2回	ワークショップ*ミニカード絵本2/自分絵本の制作*どんなかたちにするか_イメージを固める										
第3回	ワークショップ*ページめくりをかながえる1/自分絵本の制作*ラフ作り_イメージを固める										
第4回	ワークショップ*ページめくりをかながえる2/自分絵本の制作*ラフ作り_使う紙の準備										
第5回	ワークショップページ*箱絵本1/自分絵本の制作*ラフ作り_使う紙の準備										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
イラストレーション実習 2 (2)	
第6回	ワークショップ*箱絵本2 / 自分絵本の制作*本文の制作
第7回	ワークショップ*カレンダー1 / 自分絵本の制作*本文の制作
第8回	ワークショップ*カレンダー2 / 自分絵本の制作*本文の制作
第9回	ワークショップ*カレンダー3 / 自分絵本の制作*本文の制作
第10回	ワークショップ*福袋1 / 自分絵本の制作*本文の制作__表紙周りを考える
第11回	ワークショップ*福袋2 / 自分絵本の制作*本文の制作__表紙周りを考える
第12回	ワークショップ*福袋3 / 自分絵本の制作例*本文の制作__表紙周りを考える
第13回	自分絵本の制作*一冊にまとめる
第14回	自分絵本の制作*一冊にまとめる
第15回	発表__後期制作したものの振り返り